

令和 2 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	駐輪場管理運営事業	会計名称	一般会計		担当課	経済雇用戦略課	
		予算科目	7 款 1 項 1 目	事業番号	3090	所属長名	小笠原幸男
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	池富隆博	
法令根拠等	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律				実施期間	【開始】	令和/平成 18 年度
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造 活力ある商業・工業の振興					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	通勤労働者の利便性や商店街への集客環境を充実することにより、商工業の振興に繋げる。						
事業の対象	JR利用者 ほか			事業の目的	JR駅周辺の整備と環境美化		
事業の内容 (整備内容)	JR駅 (伊予市駅・鳥ノ木駅・中山駅・上灘駅・下灘駅) の周辺環境美化及びトイレ清掃並びに駐輪場の整理、放置自転車の撤去			昨年度の課題に対する具体的な改善策	JR伊予市駅前の駐輪場管理を業者委託しており、今年度の作業職員減により、トイレ清掃も併せて業務委託したことから、相応の管理費がかかっているが、職員が作業していた時よりも経費が安くなり、受託業者も適切な管理を行っていることから、雇用の観点も含めれば妥当であると考ええる。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	2年度予定	9月末の実績	2年度実績
直接事業費	8,882	4,326	0	0	0	5,013	JR駅の整理等業務委託数	施設	6	6	7	7
財源内訳	0	0	0	0	0	0						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0	放置自転車の処分数	台	24	6	0	0
一般財源	8,882	4,326	0	0	0	5,013						
職員の人工 (にんく) 数	0.30	0.30				0.30						
1人工当たりの人件費単価	7,992	7,812				7,812			0			
※ 直接事業費+人件費	11,280	6,670				7,357						
主な実施主体	伊予市駅<シルバー人材センター> 他		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		管理委託料 (3,147千円)				0			
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	5年間の合計		
					4,400	4,400	4,400	4,400	4,400	22,000		
成果指標	指標	放置自転車数	単位	台	⇒	区分年度	前 年度	2 年度	3 年度	目標 毎 年度		
	指標設定の考え方	駅前広場等の良好な環境を確保し、その機能低下を防止する必要があると認められるときは放置自転車等の撤去等に努めなければならないため。				目標						
	指標で表せない効果					実績	24	7				

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		JR伊予市駅前でバイク置場と自転車置場のエリア分けにより、管理業者と利用者とのトラブルが発生した。現場での周知方法の検討と、管理業者への指導が必要である。JR鳥ノ木駅前駐輪場の屋根のパネルが度々破損し、修繕料が高むほか、事務効率も悪くなっている。素材を変えるなどの検討が必要である。							
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が	A	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	JR鳥ノ木駅前駐輪場の屋根 (パネル) が老朽化により度々破損し、利用者に不便をかけることが例年発生していることから、今年度、すべての屋根のパネルをより耐久性のある素材に変更した。今後において、修繕の回数の減少、事務の効率化に努めた。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4				
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の積極的に関与・実施すべき事業である。	4				
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が	A		
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4				
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進に向け、効果を認めることができる。	3				
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4	合計点が	A			
		コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	4					
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3					
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が	A	事業の方向性 所屬長の課題認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業継続と判断する。</li> <li><input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する</li> <li><input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する</li> </ul> (判断の理由) JRの利用促進を図るため、事業を継続する必要があると判断する。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3				
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の積極的に関与・実施すべき事業である。	3				
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が	A			
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3					
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	4					
効率性		手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が	B			
		コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3					
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3					

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>		

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	